

はじめに

近年、さまざまな自然災害が私たちの生活を脅かしています。被害を最小限にとどめるためには、村民の皆さん一人ひとりがあわてず落ち着いて、適切な行動をとることが重要です。また、「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯感のもとに、日頃からの備えをしていただき、高齢の方や障がいのある方には日頃から気を配っていただくことが大切となります。この冊子は、災害に前もって準備できることはどのようなことなのか、風水害ではどのような点に注意しなければいけないのか、あわせて、災害がおきた時に避難できる場所を掲載しています。ご家庭や地域の皆さんで防災について話し合いをされる際にご活用ください。

目次

● 日頃から備えておくもの 1	● 防災マップ 6
● 風水害 2	童仙房地区 6
風水害に強いすまいづくり 2	野殿・童仙房地区 8
風水害に遭遇 そのときどうする? 4	南大河原・北大河原地区 10
	北大河原地区 12
	田山地区 14
	高尾地区 16
	● わが家の防災メモ 18

避難するときは安全な服装で

服は長袖・長ズボンを着用し、材質は燃えにくい木綿製のものにする。

軍手や手袋を着用する。

靴は厚くて丈夫な材質のものにする。



ヘルメットや防災ずきんをかぶる。

非常持出品はリュックサックに入れて背負い、その他の持ち物はポケットなどに入れ、両手は使えるようにしておく。



日頃から備えておくもの

非常持出品

●貴重品

現金、印鑑、預金通帳、保険証
免許証など



●照明器具

懐中電灯（できれば1人に1個）
予備電池、ロウソク、ライター



●救急・衛生用品

消毒薬、傷薬、目薬、胃腸薬、鎮痛
解熱剤、生理用品、ばんそうこう、
包帯、ティッシュペーパー、さらし、
石けんなど



●携帯ラジオ (FM 付き)

予備電池



●非常食品

缶詰、乾パン、ビスケット、チョコレート、
ミネラルウォーターなど
(火を通さなくても食べられるもの)



●衣類

下着類、セーター、ジャンパー、タオル、
防災ずきん、軍手、雨カッパなど



●道具

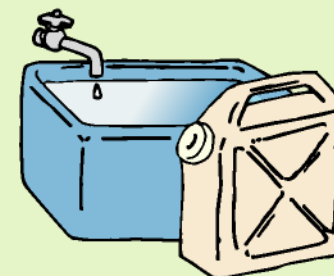
缶切り、栓抜き、ナイフ、割りばし、
紙製食器、ロープ、ビニール袋、
細ひもなど



備蓄品

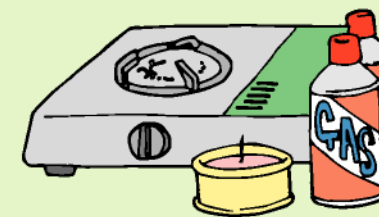
●水

飲料水は1人1日3リットルで3日
分が目安（煮沸して使用）。
こまめに取り替え、生活用水
（炊事、洗濯、トイレなど）は、
浴槽や洗濯機などに貯水



●燃料

卓上コンロ（予備のガスボンベも）
固形燃料など



●食料品

3日分が目安。米、アルファ米、
レトルトバック食品、カップ麺、梅干し、
調味料、菓子類など（有効期限に注意）。

